



緑区



実施までの準備

昨年度は、コロナ禍であり研修をZoomで実施しましたが、今回は、研修内容がZoomには適さないと考え集合型の研修としました。そのため感染拡大防止のため、収容人数の多い公会堂を会場としました。

実施概要

研修タイトル 緑区ACP人材育成研修

実施方法 会場での開催

日時 令和4年10月13日(木) 14時～17時

場所 緑公会堂

内容 ①ACPの理解

(横浜市医師会常任理事 西神奈川ヘルスケアクリニック 赤羽 重樹氏)

②ACPの普及啓発方法(すすき野地域ケアプラザ 所長 小藪 基司氏)

③グループワーク「価値の引き出し」(旭区在宅医療相談室 洪 正順氏)

参加者 72人

内訳

①医師(1人) ②訪問看護師(15人) ③歯科医師(3人) ④リハ職(4人) ⑤行政職員(6人)
⑥ケアマネジャー(21人) ⑦介護福祉士(5人) ⑧地域包括支援センター職員(12人)
⑨その他の職種(福祉用具専門相談員・実習生 5人)



参加者の意見

- 研修内容については、講義、ワークともにほとんどの方が「とても良かった」「良かった」と回答し、満足度が高いことが伺えました。
- 多くの方から、年代や人生の経験によって考え方が変わる、年代によって大切なことが違ったり、気持ちは揺れ動くことを認識しました。普段から元気なうちからACPを確認することが大切との感想もありました。



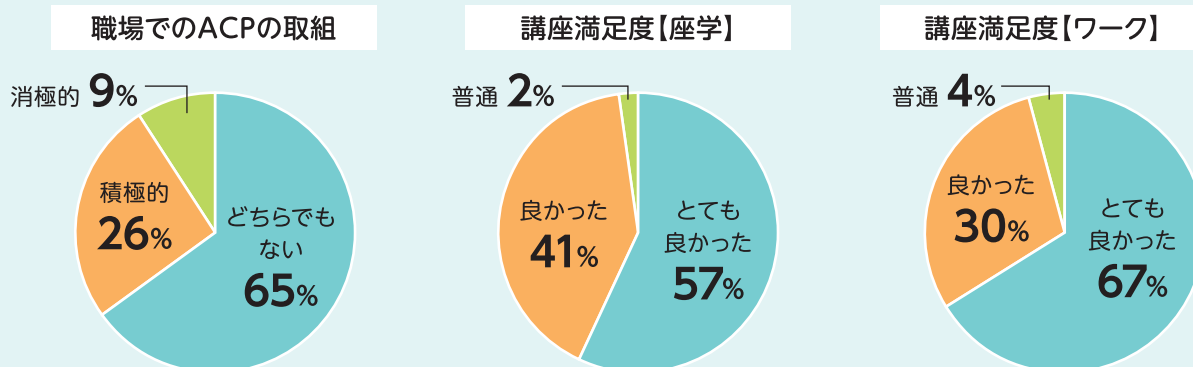
研修の成果

介護保険サービス提供事業者の多くは、ACPについてあまり知られていない状況でした。

今回ACP研修を実施したことで、研修参加者はACPの理解につながりました。参加者だけの理解に留めず、他の介護保健サービス提供事業者に対して、今回の研修参加者が知識の普及啓発ができる支援が必要と考えました。

アンケート結果の一部 n=54

※グラフの構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。



今後の方向性と次年度に向けて

高齢社会の今、高齢者本人が納得した人生の最後を迎えられるようACPの普及啓発が必要です。次年度は、今回の研修で終了とせず、引き続き医療・福祉の専門職を対象としたACP研修について、在宅みどりネットワーク（医療・介護に関わる多職種連携会議）を中心に検討し、研修が実施できるよう支援をします。